

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制 マンガコース											
デッサン1											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	1
担当教員	加藤正			実務 経験	有	職種	画家、版画家				
授業概要											
デッサンやクロッキーなどを通じて、観察力や描画力を高める。											
到達目標											
デッサンの基本的要素（構図、明暗の階調、質感、量感、遠近感など）を理解する。自分の感性を素直に表現できる描写力を身につけ、今後の制作に活かせるようにする。遠近法の理解を深める。自分の絵を客観的に見られるようにするとともに、ものを見る力、観察眼を養う。人体のプロポーションを理解する。											
授業方法											
鉛筆でのデッサン実技が授業の主体になる。これまでデッサンの経験がある人ない人さまざまなので、描き易いモチーフから授業を進める。一つの課題が終わるごとに課題作品を並べて講評する。他の人の作品と比べることにより、自分の絵のくせや個性に気がつくと思う。毎回、人物クロッキーを5分×2回行う。											
成績評価方法											
課題作品の評価と授業態度による。											
履修上の注意											
授業の初めに実技のポイントなどを説明するので遅刻をしないこと。10分以上遅刻は欠席となるので注意すること。クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴムは毎回持参すること。課題作品はできるだけ授業時間内で仕上げる。時限出席率75%以下は課題を提出していても不合格となる。											
教科書教材											
クロッキー帳、鉛筆、練り消しゴム。参考書・参考資料等は授業中に指示する											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、クロッキー。デッサンをする上での道具や用具の使い方について理解する										
第2回	人体骨格の模写。人体の構造の理解を深める										
第3回	幾何形体（多面体）を描く。基本的なデッサンのプロセスを理解する										

デッサン1

第4回	校内写生（雨天順延）。構図に注意し、遠近感を出すことに考慮する
第5回	幾何形体（球、円柱、円錐）を描く。明度の違いは、光源との距離と光源に対する面の傾きによって決まる事を理解する
第6回	手を描く。形態の把握と質感の違いを理解し、表現に結びつける
第7回	足の石膏デッサン（1）。形態の把握と構図について理解する
第8回	足の石膏デッサン（2）。空間の認知と存在感を意識する
第9回	人物スケッチ、クロッキー。基本的な石膏像デッサンのプロセスを理解する
第10回	ヌードデッサン（女性）。人体のプロポーションを理解する
第11回	ヌードデッサン（男性）。人体のプロポーションを理解する
第12回	石膏像デッサン（1）。基本的な石膏像デッサンの描き方のプロセスを理解する
第13回	石膏像デッサン（2）。質感、量感、明度などに注意し、存在感のある作品に仕上げる
第14回	ピンを描く。透明感のある物の描き方を習得する
第15回	遠近法、透視図法について。遠近法、透視図法を理解する